

平成23年度決算が承認されました

高齢者医療制度への納付金の減少等により3億7,431万9千円の黒字に

健康保険

経常収入支出差引額
3億7,431万9千円

収入

支出

決算の基礎数値	
被保険者数	7,314人
平均標準報酬月額	355,067円
保険料率	88.00/1000
事業主	52.25/1000
被保険者	35.75/1000

経常外収入	
調整保険料収入	5,273万1千円
災害臨時特例補助金	807万円
高額医療交付金	3,665万7千円
など	

経常収入	
35億4,735万5千円	臨時的なものを除いた健保組合本来の収入
その他経常収入	
● 国庫負担金収入	121万円
● 特定健康診査・保健指導補助金	96万3千円
● 雑収入	1,541万3千円
保険料収入	
35億2,976万9千円	(1人あたり額 482,604円)

経常外支出	
5,866万9千円	● 財政調整事業拠出金
	5,247万5千円
	など

経常支出	
31億7,303万6千円	臨時的なものを除いた健保組合本来の支出
その他経常支出	
2,443万6千円	● 事務費
	1,366万6千円
	● 連合会費
	200万7千円
	など

保健事業費	
6,667万7千円	(1人あたり額 9,116円)
	【保険料収入の2%に相当】

納付金	
13億5,572万2千円	(1人あたり額 185,359円)
	【保険料収入の38%に相当】
● 前期高齢者納付金	
	4億7,595万9千円
● 後期高齢者支援金	
	7億2,261万2千円
● 退職者給付拠出金	
	1億5,712万円
● 老人保健拠出金	
	3万1千円

保険給付費	
17億2,620万1千円	(1人あたり額 236,014円)
	【保険料収入の49%に相当】

介護保険

科目	収入
介護保険収入	2億7,685万2千円
繰入金	1,507万8千円
一般勘定受入	192万5千円
収入合計	2億9,385万5千円

科目	支出
介護納付金	2億9,385万5千円
支出合計	2億9,385万5千円

決算の基礎数値	
徴収対象第2号被保険者数	3,469人
平均標準報酬月額	409,006円
保険料率	12.20/1000
事業主	6.10/1000
被保険者	6.10/1000

健康保険

健保組合を取り巻く状況

先に開催されました組合会において、当健保組合の平成23年度決算が可決・承認されましたのでご報告します。

健保連が4月に発表した「平成24年度健保組合予算早期集計の概要」によると、健保組合全体で5,782億円の経常赤字になる見込みで、赤字組合の割合は約9割、保険料率を引き上げた組合の割合は約4割で過去最高、高齢者医療制度を支える支援金・納付金の保険料収入に対する割合も46・2%で過去最高となっています。当組合だけでなく、健保組合全体が支援金・納付金に圧迫されている危機的な状況が明らかになっています。

また、社会保障・税一体改革関連法案についても衆議院で可決されましたが、高齢者医療制度の見直しは「国民会議」の議論に先送りされ、先行き不透明な状況が続いています。さらに、短時間労働者に対する被用者保険の適用拡大など、健保組合の負担増となる内容も盛り込まれており、これらの動きにも注視する必要があります。

住友ゴム健保の収支状況

経常収支差引額
3億7,431万9千円

収入

保険料収入は、標準報酬と賞与および被保険者数の増加で前年度より約1億9,300万円増加しました。それ以外の主な収入として、国庫補助金収入1,010万7千円、高額医療交付金3,665万7千円などがありました。それらを加えた収入合計は36億4,588万7千円、補助金や交付金などを除いた経常収入合計は35億4,735万5千円となりました。

支出

みなさんの医療費の支払いに充てられる保険給付費は、被保険者数の増加を反映して前年度より約6,090万円増加しました。被保険者1人あたりの保険給付費も若干増加しています。また、高齢者医療制度への納付金は、平成21年度の精算等により約4億1,300万円減少しました。みなさんの健康づくりをサポートする保健事業費などを加えた支出合計は32億3,170万5千円、財政調整事業拠出金や営繕費などを除いた経常支出で

収支

は31億7,303万6千円となりました。組合財政の健全性を示す経常収支差引額は、3億7,431万9千円の黒字となりました。組合財政に大きな影響を与えている高齢者医療制度への納付金が精算により減額されたことが大きな要因であり、平成24年度予算では黒字額は約2,280万円まで圧縮されています。

介護保険

介護保険収入は2億7,685万2千円、主な支出科目である介護納付金は2億9,385万5千円となり、介護保険収入だけでは賸えないので準備金から1,507万8千円を繰り入れ、一般勘定から192万5千円を受け入れて収支の均衡を図りました。

平成23年度の決算は、高齢者医療制度への納付金の精算等により黒字で終えることができましたが、24年度以降は納付金が増加するのは確実であり、さらに事業の効率化に努め、慎重に運営してまいります。みなさんにおかれましては、医療機関への適正受診やジェネリック医薬品の利用、そして日頃の健康管理に留意して、医療費の節減に努めていただきますよう、よろしくお願いたします。